

星田駅前パチンコ店裁判 最高裁は上告を受理せず

星田駅前パチンコ店の近隣住民が、営業許可の取り消しを府に求めた裁判で、5月9日、最高裁は「上告審として受理しない」と決定しました。

このパチンコ店は、2009年に交野市の条例(学校から150メートル以内でのパチンコ店の建築を禁止)に違反して建築されました。また、景品交換所や駐車場が小学校から100

メートル以内にあり、大阪府条例(学校から100メートル以内でのパチンコ店の営業を禁止)に違反しているとして、近隣住民(小学生の保護者)が提訴し、営業許可の取り消しを求めてきました。

2012年11月、大阪地裁は「駐車場や景品交換所もパチンコ店と一体である」と住民の訴えを認め、営業許可の取り消しを命じました。

しかし、府が控訴し、高裁判決(2013年8月)は、パチンコ店の距離制限の違反について、学校の設置者でない小学生の保護者には訴える資格がないと、「原告適格」を認めませんでした(訴えを棄却)。

しかし、パチンコ店の営業で影響を受ける児童の保護者が訴える権利は、当然に認められるべきではないでしょうか。

いきいきランドのプール 12月まで休館予定

いきいきランドのプールは、天井の不具合が生じ、3月15日から休館しています(アクアゾーンを除く)。昨年12月および今年3月14日の地震後、プールの天井から錆びた鉄粉が落下し、鉄材が落下する恐れもあることから、天井の全面的な改修工事を実施する予定です。休館の予定期間は、今年の12月末日までとなっています。(トリーニングルームは通常通り利用できます。)



天井板にスリのある箇所

共産党議員団が現場を視察

日本共産党

6月議会に3本の意見書を提出

「残業代ゼロ」の導入中止を求める意見書

政府の産業競争力会議(議長・安倍晋三首相)は5月28日、財界・大企業の要求に応じて、労働時間の規制をなくし、際限なく働かせることができる制度を導入することで一致した。

労働基準法は、労働時間について、1日8時間、週40時間と定め、これを超えて働かせる場合は労使協定を結んで残業代を支払うように厳しく規制している。これがなくなれば、労働者は成果をあげるために際限なく働かされ、いくら働いても残業代が支払われず、過労死しても「自己責任」として片付けられかねない。

安倍首相は、2007年にも労働時間の規制を除外する「ホワイトカラー・エグゼンプション」として、年収900万円以上の労働者を対象として検討を行った。しかし、「過労死を招く」と世論の反発を招き、導入を断念した。

今後、安倍首相は政府の成長戦略に、労働時間の規制をなくし、「残業代ゼロ」を実施できる方向を盛り込み、労働基準法改定に動き出そうとしている。

この動きは、「過労死防止対策推進法」と真っ向から逆らうものである。

国民・労働者は、「残業代ゼロ」の導入に反対の意思表示を行っている。5月27日の日本労働組合総連合会の集会で、古賀伸明会長は「働かせる側の視点で労働者保護ルールの改悪が検討されている。新たな労働時間制度は、究極の残業代不払い制度だ」と反対の訴えを行っている。

よって、政府においては、労働時間の規制をなくさず、「残業代ゼロ」の導入を中止することを強く求める。

日本共産党は、6月議会に「残業代ゼロの導入中止を求める意見書」「関西電力大飯原発の再稼働中止を求める意見書」「消費税10%への増税中止を求める意見書」を提出しました。

関西電力大飯原発の再稼働中止を求める意見書

安全性が保証されないまま関西電力大飯原発3、4号機(福井県おおい町)を再稼働させたとして、福井県などの住民189人が関電に運転差し止めを求めた訴訟の判決言い渡しが5月21日に福井地裁であり、関電側に運転差し止めを命じた。

判決文では、憲法で保障された「人格権」を最優先にしており、「原発は、

電気を生み出す一手段である経済活動」であり、「人格権よりも劣位」として、「コストより安全」を明確にしている。そして、原発事故を「大きな自然災害」「戦争」と同列において、「(事故の)具体的危険性が万が一でもあれば、差し止めが認められるのは当然」と述べている。

再稼働の動きに対しては、「豊かな国土に、国民が根を下ろして生活していることが国富であり、これを取り戻すことができなくなることが国富の喪失だ」と断じている。

また、耐震性については、「基準震度を超える地震が到来しないというのは、根拠のない楽観的見通し」と安全神話を断罪している。

今回の判決は、東京電力福島第1原発事故を念頭に、「地震の際の冷却や放射性物質の閉じ込めに欠陥があること」「原発の運転で人格権が侵害される危険がある」などを厳しく指摘したものである。

政府はこの判決を重く受け止め、大飯原発再稼働中止の政治決断を行うことを強く求めるものである。